

国際水研 第 122 回 所内談話会

日 時：2018 年 8 月 30 日（木）15:00～16:00

場 所：国際水研会議室「富士」（清水庁舎 本館 2 階）

講演者：David Itano 氏, Jefferson Murua 氏 (ISSF)

講演内容：

「International Seafood Sustainability Foundation (ISSF) の概要と科学的活動」

8/29（水）に焼津港において ISSF 主催の我が国の海外まき網漁船漁労長との FAD 混獲回避技術に関する WS (Skippers WS) が開催されました。これに出席した ISSF の両氏が国際水研清水庁舎を表敬訪問する機会を利用して、談話会で彼らの組織を紹介していただくことにします。

ISSF で検索すると International Shooting Sport Federation 「国際射撃連盟」が出てくることが多いようですが、今回の話は、International Seafood Sustainability Foundation 国際水産物持続財団 (ISSF) の紹介となります。ISSF の活動に関しては、これまで当所からも「RFMO における資源評価手法 WS」「管理基準値 WS」「FAD 技術 WS」等に参加してきました。

ISSF は「科学者、業界リーダー、環境問題研究者らで構成される、まぐろ類資源の長期保全と持続可能な利用に向けた科学的根拠に基づく対策の実施を目指す団体」と紹介されることもあります。ISSF の HP には、世界の名だたる缶詰会社の参画や MSC の文言も見られます。日本市場のまぐろ類利用とは異なった基盤での活動情報を得る機会になるかと思えます。

(ISSF ホームページ、ISSF Skippers WS HP)

<https://iss-foundation.org/>

<https://iss-foundation.org/what-we-do/areas-of-focus/bycatch/skippers-workshops/>